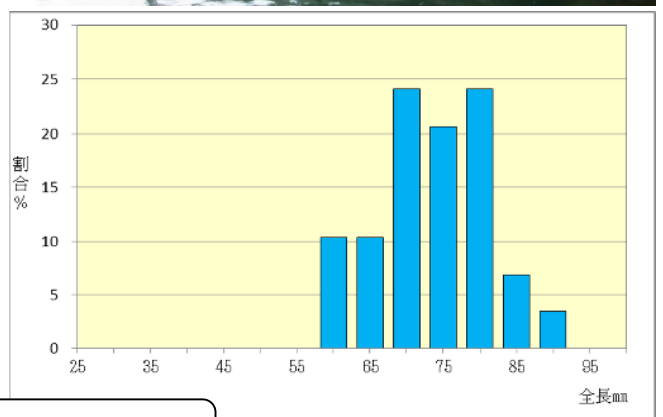
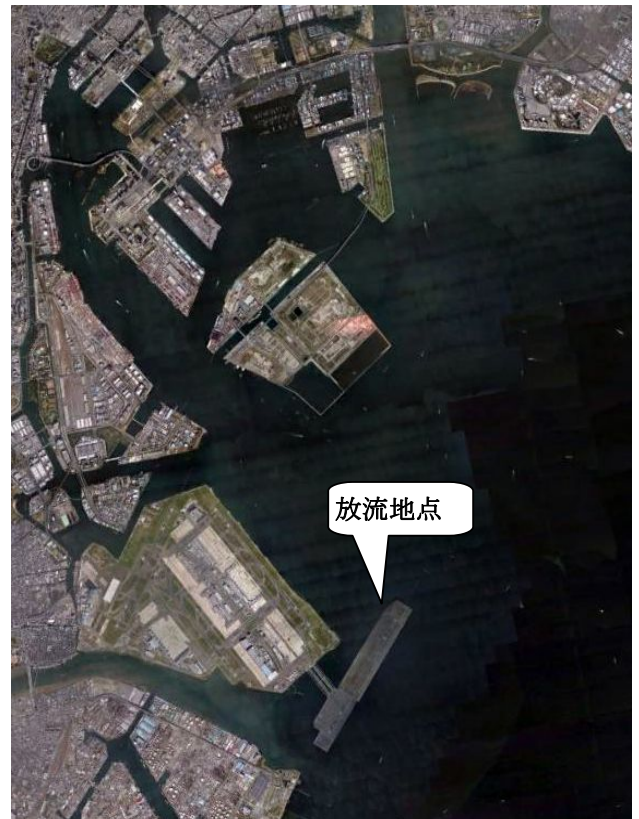


カサゴの稚魚を放流しました！

9月16日にカサゴの稚魚2万尾(全長6.3～9.0cm、平均7.56cm)を放流しました。放流地点は例年と同じく、羽田空港D滑走路の先端部です。ここは写真のようにスリット護岸となっており、カサゴの稚魚が大型の捕食者から身を守ることができるなど、生残に好条件を備えています。今年の稚魚は昨年に比べひとまわり大きく、活魚槽からタモですくって放流すると元気に泳いでいきました。

カサゴはメバルやグッピーと同じく卵胎生で、雌がお腹の中で卵をふ化させ仔魚を生みます。一尾でも多くの稚魚が大きくなって釣り人を楽しませるとともに、この海域でたくさんの仔魚を産んでほしいものです。なお、放流には、芝漁業協同組合並びに都内湾釣漁協議会(小島一幸会長)のご協力をいただきました。



放流したカサゴ稚魚の大きさ